

## 第2回 ICF地域連携パス事例検討会

# COPD患者の“時々入院、ほぼ在宅”を支える

今回は、当院のショートステイを10年間利用しておられる患者さまの事例検討をしたいと思います。COPD（慢性閉塞性肺疾患）が徐々に悪化し、現在は呼吸を補助する器械を常に使用しています。呼吸がしんどくなっていることへの不安が強くなり、ケアマネージャーや訪問看護師、病院の看護師がそれぞれケアを工夫して関わっています。介護をする家族の健康状態も気になるところです。

在宅と病院でどのように患者さんの生活を支えていくのか考えるとともに、ICF地域連携パスの活用についても意見交換をしたいと思います。

日時 2022年8月10日（水） 17～18時

参加申込み



当日参加（ZOOM）

ミーティングID: 899 5792 1031  
パスコード: 670858  
16:30から入室できます

終了アンケート



- ① ICF地域連携パスのフォーマットの紹介  
京都民医連中央病院 3A病棟師長 三宅 和美
- ② 事例紹介とICF評価、実践したケアについて  
京都民医連中央病院 2A病棟主任ケアワーカー 井上 左知夫
- ③ 退院1か月後のICF評価とパスを使用した感想交流  
居宅支援太秦安井 岡田 有美 様  
訪問看護ステーション太秦安井 小畑 知恵子 様
- ④ 質疑応答

主催 ◆ 京都民医連中央病院地域連携パスPJチーム  
問合せ窓口 甲田由美子（管理企画室）  
寺内 桃子（師長室）  
☎075-861-2220